

2014年度第2回執行理事会議事録

期 日：2014年7月12日（土）13:00～17:00

場 所：地質学会事務局

出席者：井龍会長 山本副会長 渡部副会長 齋藤常務理事 坂口 ウォリス 緒方 杉田 竹内 平田 廣木 保柳 松田 山路（事務局）橋 辺

欠席者（委任状提出あり）：海野 中澤 星

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 14名，委任状 3名，合計17名の出席。

*前回議事録が承認された

I 審議事項

1. 理事の辞任及び後任就任にかかわる臨時総会開催の件（齋藤）

理事2名から辞任の意向があったことに伴い，理事交代の手続きを進める。前回の理事選挙の補欠2名が繰り上げ当選となる。

理事の選任は総会での議決が必要なので，理事会での臨時総会開催の審議（メール審議）をおこない，鹿児島大会に合わせて臨時総会を開催する方向で調整する。臨時総会は，9月13日の昼を予定。

2. 機関レポジトリの問題（井龍）

機関レポジトリにて公開された学位論文と同じ内容の論文が投稿された場合の対応が問題提起された。複数の機関レポジトリにおける公開に関する契約内容を検討した。

顧問弁護士と相談して日本地質学会としての対応を詰める。また，著作権に関する理解不足によって混乱が生じているようなので，今回の問題の注意喚起を行い，著作権に関するQ&Aを整備する。

3. 研究不正に関するパブリックコメント（渡部）

研究活動における不正行為の対応に関するガイドラインの策定が文部科学省で進められている。研究プロセスにかかる試料の保存など地質学特有の問題点を中心に学会としてコメントする。その際に理事会にもメールで問題提起し意見を集める。

4. 「地震に関する総合的な調査観測計画について」のパブリックコメントの検討（井龍）

井龍会長より学会としてのコメント案が示され，これを中心に検討した。専門部会にも意見収集を依頼してあり，これをまとめてコメントを提出する。

5. 各県の岩石・鉱物・化石に関して都道府県（広報課）へのアンケートを実施（井龍）

全国都道府県にアンケート調査を実施中（8月8日締切）。

アンケートの返信（7/11現在）17通返信があり，県の石を定めている県はない。県の著名な石や岩を挙げてきたのは12都道府県，また，県の石としての

候補を挙げてきたのは3県あった。アンケートの結果を踏まえて，今後は一般からの意見公募，支部および理事にも練ってもらう。また，9月の支部長会議でも検討する。市民公募については，募集開始をプレスリリースすることとした。

6. ネット地学部“ちーとも”現状報告と提案（坂口）

2012年の開設時にポスター配布によって，滑り出しが良かったが，ここ最近は新規加入数も活動度も鈍ってきていることが示され，ビラ配布による広報活動によって新規加入者の増加を図りたいと提案された。ビラ配布による新規加入者の増加を図るとともに，メルマガを定期刊行して既存メンバーの活発化を促すこととした。

7. 編集細則 規則の改正について（山路）

山路編集委員長より次の三点の改正が提案された。

(1) 同一著者による同号掲載の制限を撤廃する。(2) ただし「講座」の場合は，連載初回のみ2編載せることを可能とする。(3) 著者負担金に関する文言の修正。以上の提案に対して文言修正の上，了承された。

8. 論文著者の貢献の明記について

複数著者の論文の場合に，各著者の貢献を明示するジャーナルが増えてきており，様々な分野の動向を情報交換した。地質学会としての対応は議論を重ねることとした。

9. その他

1) 連合のプログラム委員の推薦依頼があり，候補者を検討し，本人に諾否を問い合わせることとした。連絡め切りは8/24。

2) 前任者より，次期のアイソトープ・放射線研究発表会の運営委員の交代要請があった。渡部副会長および齋藤常務理事が候補者を選ぶこととした。

3) 国際学術交流招待者の旅費に関して

学術大会への招待に関して，滞在日数が予定より長い希望についても負担することを了承した。

4) 学会HPに掲載（Q&A）の地質災害に関して，代表的地質災害の基礎を解説するなど，ページを整備することとし，広報委員会および応用地質部会が対応する。

II 報告事項

1. 全体的報告

・大学評価・学位授与機構より，機関別認証評価に係る専門委員（平成26年度実施分）に当学会からの推薦者1名を決定した報告あり（氏名は非公表の要請）。

2. 運営財政部会：総務委員会（緒方）

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

1. 平成27年度笹川科学研究助成の募集。学術研究部門（募集期間10/1-15）→HP，geo-flash，News掲

載

2. 沖縄協会より、「第36回沖縄研究奨励賞」の公募(7/15-9/30, 学会メ切8/29) →HP, geo-flash, News掲載
3. 朝日新聞文化財団より朝日賞の推薦依頼(メ切8/29, 学会メ切8/8) →HP, geo-flash, News誌に掲載
4. 東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の公募(10/10メ切, 学会メ切8/29) →HP, geo-flash, News誌に掲載
5. 東京大学海洋研究所より, 学術研究船「白鳳丸」の平成28・29・30年度共同利用募集, 研究企画調整シンポジウムの開催 →HP, geo-flash, News誌に掲載
6. 第30回ゼオライト学会研究発表会(11/26-27. 東京)の協賛を承諾
7. 第5回日本ジオパーク全国大会(南アルプス大会. 実行委員長伊那市長)の後援を承諾
8. 環境地質部会(田村会員)より. 第24回環境地質学シンポジウム(地質汚染・医療地質・社会地質学会主催)の共催をする旨報告あり.
9. 第12回高校生科学技術チャレンジ(JSEC2014)の後援を承諾. ならびにJSEC2013の事業実施報告があった.

<その他>

1. 学術著作権協会より. 管理委託契約約款変更通知ならびに委託登録内容(2013年度)の確認あり.
2. 広島大学地球惑星システム学専攻の教授の公募(8/29メ切)
3. 挨拶状: 地盤工学会(会長: 東畑郁生). 石油資源開発株(社長: 渡辺 修)
4. 総務省から経済センサス・基礎調査. 商業統計調査(国勢調査のようなもの)

<会員>

1. 今月の入会者(75名)氏名は別紙参照
正会員(15名): 正(院割) 会員(53名): 正(学部割) 会員(7名):
2. 今月の退会者 正会員(8名): 相原悠平, 伊藤良永, 赤塚正明, 高梨 正, 荷福 洸, 矢作智隆, 富岡典夫, 宮崎智美
3. 今月の逝去者: なし
4. 5月末日会員数
賛助27:, 名誉65:, 正会員3,750(正会員: 3,628, 正会員(院割): 114. 正(学部割) 会員: 8) 合計3,842(昨年比-45)

<会計>

- ・学術交流協定を結んだ学会の招待者の経費概算
交通費 4学会 1名 約30万円?
宿泊費 8名? 32泊 約34万円(42,000円/1名)
昼食会 13~14名? 4万円?
- ・国際賞(研究奨励費から支出) 1名
交通費 3泊 120,000円?

3. 広報部会: 広報委員会(坂口・松田)

- ・「一家に1枚」ポスターは昨年と同様「自然災害一正しく知り. 正しく恐れる」をブラッシュアップして提案した. 7/11に, 残念ながら不採択の通知があったが, 講評は悪くなかったので, 来年も同じテーマでの提出を検討する.

4. 学術研究部会(ウォリス・竹内・中澤)

- (1) 行事委員会(竹内)
 - 1) 年会準備状況報告
・鹿児島大会
発表数 602件: 口頭370件. ポスター232件
会場費: 約40万円(80万円の学会割引)の予定
・2015信州大会実行委員会体制および巡検コース案
・2016東京大会実行委員会体制
・台風等自然災害時の対応, とくにアウトリーチイベントの対応が話し合われた.
 - 2) 公開講演会(5/24)の報告(斎藤)
たいへん好評であったので, CPD付与を含めて今後も推進したい.
 - (2) 国際交流委員会(ウォリス)
・学術交流協定を結んだ学会の招待者
韓国: 2名 モンゴル: 1名 タイ: 3名
イギリス: 3名?

- ・鹿児島大会に海外からの参加問い合わせがあったが, 実際にはまだ参加登録はされていない.

- (3) JIS. 標準担当(中澤)

5. 編集出版部会(山路・海野・保柳)

- (1) 地質学雑誌編集委員会(山路)
 - 1) 編集状況報告(7月10日現在)
・2014年投稿論文 総数43編[総説3(和文3)・論説21(和文21)・ノート1(和文1)・報告5(和文4・英文1)・口絵4(和文2・英文2)・巡検案内9]・査読中 23編 受理済み6編(うち特集号3)
・120巻7月号: 論説2・報告1(約35頁, 校正中)
 - (2) アイランドアーク編集委員会(海野)
・編集状況報告
(3) 企画出版委員会(保柳)
・箱根たんけんマップ. 修正の上. 第2刷印刷中
・長瀬たんけんマップ. 査読結果は, 小中学生には難しすぎるので, 大幅修正. 委員会で査読結果を検討中. なるべく早く著者へ戻す予定.
- ・JAMSTEC国際シンポジウム参加者の見学に城ヶ島のリーフレットを大量購入. 外国人参加者へは英訳して使用したいとのこと. 参加する方の分のみなら構わないと答えた.
- ・三浦半島マップは進捗なし.

6. 社会貢献部会(平田・杉田・廣木)

- ・秋季地質調査研修会の実施予定については, 11月25日からを予定している.

7. 地学オリンピック支援委員会(久田)

- 国際大会に向けて準備中. キャラクターデザイン募集中. 地震火山サマースクール(島原ジオパーク

にて8月2-3日)にも地学オリンピックが参加する.

8. 地質災害委員会 (斎藤)

南木曾の災害への情報掲載

9. 地質技術者教育委員会 (山本)

鹿児島大会で夜間小集会を予定.

以上

2014年7月30日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会 長 (代表理事) 井龍康文

署名人 執行理事 斎藤 真